

よんでみない？

～あかちゃんに贈る絵本の紹介リスト

ブックスタート編～



令和7年度(2025年度)版

もくじ

ブックスタートとは	1	ひまわり	8
あ・あ	2	ぴょーん	8
あかちゃんのおと	2	ぷくちゃんのすてきなぱんつ	8
いいおかお	2	ぽんぽんポコポコ	9
いないいないばあ	3	まてまてまて	9
いやだいやだ	3	まるくておいしいよ	9
おーくんおんぶ	3	まるまるころころ	10
おててがでたよ	4	まんまんぱっ！	10
がたんごとんがたんごとん	4	みずちゃぼん	10
くだもの	4	みる	11
じゃあじゃあびりびり	5	むしさんどこいくの？	11
しろくまちゃんのほっとけーき	5	よこむいてにこっ	11
	5	あかちゃんとお母さんの	
だっこして	5	あそびうたえほん	12
だっだあー	6	うたえほん	12
どうぶつのおやこ	6	12のわらべうたえほん	12
どんどこももんちゃん	6	絵本の楽しみ方	13
なーんだなんだ	7	鎌倉市の図書館	17
ねこがいっぱい	7		
のりものいっぱい	7		

表紙絵：松岡達英

禁無断転載

★ここで紹介している本は図書館にあります。

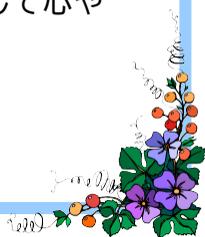
★出版年は初版年を掲載しています。

ブックスタートとは

あかちゃんのお誕生おめでとうございます。

あかちゃんは優しく話しかけてもらうのが大好きです。たとえば絵本を読んでもらう時間は、あかちゃんにとって言葉の愛情、心の栄養を受け取る時間です。それは大人にとっても、きっと楽しいひとときとなることでしょう。

ブックスタートとは、絵本を通じてふれあいを深め、あかちゃんの心と言葉をはぐくむこちよい時間をもつことを応援する事業です。鎌倉市では、このブックスタートをきっかけに、あかちゃんと周りの大人が忙しい毎日のなかにほんの少しでも、絵本を通じて心やすらぐ時間を共有できることを願っています。





あ・あ

三浦太郎／さく・え
童心社 2013年



くっきりとした線の色あざやかなイラストと、「も・も」「て・て」「と・と」など、リズムカルなあかちゃんことばがたのしい絵本です。あかちゃんといっしょにあそんでみてください。



あかちゃんのおと

みやにしたつや／作・絵
金の星社 2007年



がらがら。ペロペロ。びりびり。ごろごろ。ちゅうちゅう。みんなみんなあかちゃんのおと。あかちゃんのおとをききながら、あかちゃんとのふれあいを楽しんでください。



いいおかお

さえぐさひろこ／文
アリス館 2004年



やぎやロバやサルがみんないい顔で登場します。このどうぶつはなあに？と会話しながら楽しめる写真絵本です。表情豊かなどうぶつたちの顔に大人もひきこまれてしまいます。



いない いない ばあ

瀬川康男／画 松谷みよ子／文
童心社 1967年

E
セ

表紙の「いないいないばあ」をしているくまの顔が子どもたちを引きつけます。ねこ、くま、ねずみ、きつねと登場し、最後に読んでもらっている子どもたちと同じ年頃の「のんちゃん」の登場です。あかちゃんが「いないいないばあ」を楽しめるようになったら、ぜひ読んであげてください。



いやだいやだ

せなけいこ／さく・え
福音館書店 1969年

E
セ

なんでもすぐに「いやだいやだ」というルルちゃん。それならおかあさんも、おやつも、おひさまもいやだっていうよ。さあどうする？ルルちゃん。「いやだいやだ絵本」シリーズ4冊の中の1冊で、ちぎり絵のやわらかい色で描かれています。



おーくんおんぶ

かたやまけん／さく
福音館書店 2007年

E
カ

おーくんは、ぬいぐるみのくまさんをおんぶ。それから、おにんぎょう、ぶたさん、いぬさんもおんぶしたら、おととと！ころんでしまいました。こんなときはやっぱりおかあさんにおんぶしてもらうのが一番！



おててがでたよ

林明子／さく
福音館書店 1986年

E
ハ

あかちゃんが初めてひとりで着替えをしたときで、こんなようすではないでしょうか。服を頭からかぶり、モゴモゴして、やがてパッとおててが出て……。あかちゃんの表情がとてもよく描かれています。

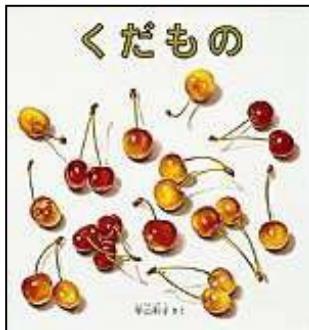


がたんごとんがたんごとん

安西水丸／さく
福音館書店 1987年

E
ア

小さな汽車が走ります。「のせてくださーい」と、ほ乳びん、コップやスプーンなどあかちゃんにもおなじみのみんなが次々と乗ってきます。どこへいくのかな？「がたんごとん」の繰り返しが心地よい作品です。

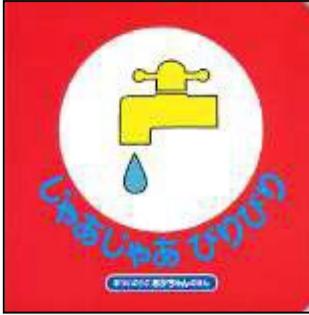


くだもの

平山和子／さく
福音館書店 1981年

E
ヒ

表紙にさくらんぼ。最初のページに大きなすいか。次は「さあどうぞ」と切ったすいか、もも、ぶどう、なしと次々に描かれる果物は、まるで本物がそこにあるかのようです。こどもたちは、絵の果物をおいしそうに食べます。えほんの中でおいしさの再体験をぜひどうぞ！



じゃあじゃあびりびり

まついのりこ／作・絵

偕成社 2001年

E

マ

「じゃあじゃあ」「かんかんかんかん」
「ぶいーんぶいーん」 何の音がわかりますか？
あかちゃんの身の回りの音が、はっきりした絵と
共に描かれます。音から「もの」がわかる絵本です。



しろくまちゃんのほっとけーき

わかやまけん／(ほか)著

こぐま社 1972年

E

ワ

しろくまちゃん、おかあさんといっしょにホット
ケーキを作ります。「ぼたあん」とフライパンに生地
を落とし、「ぷっぷっ」「ふくふく」と焼けていく様子
が何ともおいしそう。仲良しのこぐまちゃんといっ
しょに食べて、あと片づけもちゃんとしませう。



だっこして

にしまきかよこ／作

こぐま社 1995年

E

ニ

「だっこして」といろいろなどうぶつたちがやっ
てきます。カンガルーのあかちゃん、ひよこのぼう
や、みんなだっこがすき。やわらかい絵とくりかえ
しの言葉があたたかい気持ちにさせてくれる絵本
です。



だっだあー(愛蔵版)

ナムーラミチヨ／作 主
婦の友社 2010年

E
ナ

「だっだあー だらっ だらあー だっだあー」繰り返しのふしぎな言葉がいっぱい。
いろいろな表情の粘土の顔とおもしろい音は、あかちゃんをひきつけます。1ページずつゆっくりと楽しんでください。
最後は、「ぐっぐー ぐっぐー すっすー すっすー」

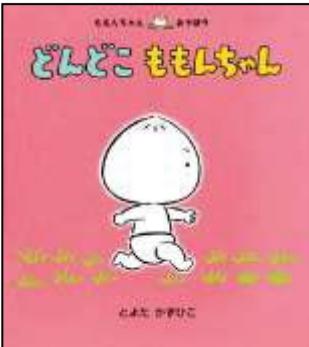


どうぶつのおやこ

藪内正幸／画
福音館書店 1966年

E
ヤ

この絵本にはいろいろな動物の親子が描かれています。文章はなく、絵だけです。
それぞれのどうぶつの親子の特徴がひとめで分かるだけでなく、親子のあたたかい雰囲気が伝わってきます。

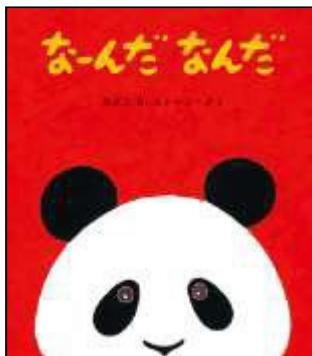


どんどこ ももんちゃん

とよたかずひこ／さく・え
童心社 2001年

E
ト

どんどこ、どんどこと、ももんちゃんがつき進んで行きます。くまさんに会っても、ころんでも、つき進んで行く。ももんちゃんがめざしてるのはどこでしょう。裏表紙の絵にもご注目ください。「ももんちゃんあそぼう」シリーズは、他にもたくさんありますよ。



なーんだなんだ

カズコ G・ストーン
童心社 2004年

E
ス

「なーんだ なんだ…」をくりかえし、ゆっくりゆっくりパンダさんがでできます。最後はあかちゃんのパンダも登場します。

同じ作者の『どーこだ どこだ』（かくれんぼの絵本）もあります。



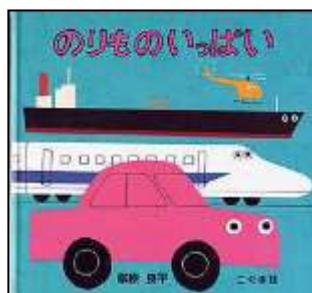
ねこが いっぱい

グレース・スカール／さく
福音館書店 1986年

E
ス

題名どおり、しましまねこ、ぼちぼちねこ、おちびちゃんなど、いろいろなねこが登場します。

最小限のことばと色がとても効果的に使われている絵本です。同じ著者の『いぬが いっぱい』もあわせてごらんください。



のりものいっぱい

柳原良平／作・絵
こぐま社 2003年

E
ヤ

トラック、地下鉄、モノレール、貨物船…。ページをめくると、シンプルでゆかいな顔ののりものたちが走ります。「のりものいっぱい のりたいなー」さあどれにのる？



ひまわり

和歌山静子／作
福音館書店 2006年

E
ワ

土の中のちいさなたねが、少しずつ少しずつ大きくなって、立派なひまわりになっていきます。力強い絵で、ひまわりの生命力が伝わってきます。リズムカルな音のくりかえしも楽しめる絵本。



ぴょーん

まつおかたつひで／作・絵
ポプラ社 2000年

E
マ

絵本をめくるといろいろないきものが「ぴょーん」とはねます。読み聞かせると、こどもたちも一緒になってはねはじめます。たくさんの科学読み物を手がけてきた作者によって描かれた生き物たちの形は正確です。



ぶくちゃんのすてきなぱんつ

ひろかわさえこ／さく
アリス館 2001年

E
ヒ

オムツがとれたばかりのぶくちゃんは、すてきなパンツをはいています。さらさらでとっても軽くていい気持ち。まだまだおもしろしてしまうぶくちゃんにおかあさんはこう言います。「だいじょうぶだいじょうぶ。ほらねおかわりぱんつ。」

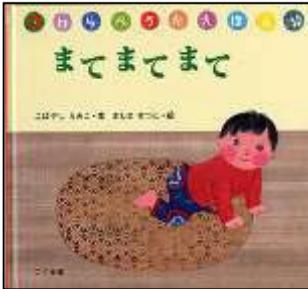


ぼんぼんポコポコ

長谷川義史／作・絵
金の星社 2007年

E
ハ

ねこ、たぬき、かえる、いろいろな動物たちがあなかを「ぼんぼんポコポコ」。絵本を読みながらあかちゃんのおなかをやさしく「ぼんぼん」してみてください。



まてまてまて

ましませつこ／絵 こばやしえみこ／案
こぐま社 2005年

E
マ

よろこんでハイハイするように、うしろから声をかけるときのわらべうたです。

あかちゃんのハイハイを応援するように、楽しく「まてまてまて」と追いかけて遊んでください。



まるくておいしいよ

こにしえいこ／さく
福音館書店 1999年

E
コ

色とりどりのいろんな大きさの「まる」がでてきて、「これなあに？」ページをめくると、ケーキやのりまき、すいかなど、まるくておいしいものがでてきます。このまるはなにかな？とあてっこしながら読むのも楽しい絵本です。



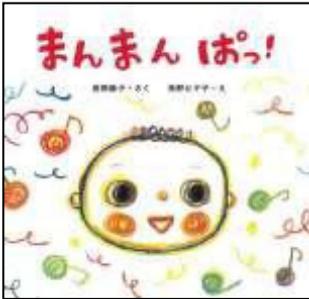
まるまるころころ

織茂恭子／え 得田之久／ぶん
童心社 2007年

E
オ

「ごろごろ ごろん」「ころころ ころん」といろんな色や大きさの「まる」が集まって、おだんご、ぶどう、あおむしになりました。

次になにができるかわくわくします。



まんまんぱっ!

長野ヒデ子／え 長野麻子／さく
童心社 2016年

E
ナ

あかちゃんはおもしろい音がだ～いすき。カラフルでふしぎなイラストと、音が奏でるハーモニーをたのしんで。さいごは「まんまん ぱっ!」。

思わず笑顔になりますよ。



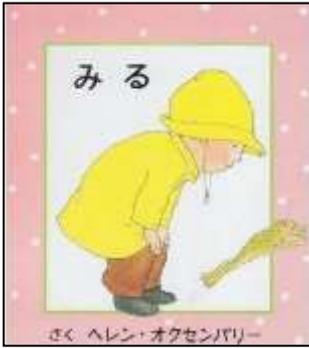
みず ちゅぽん

新井洋行／作
童心社 2011年

E
ア

表紙には、たくさんのお水。笑ったり怒ったりしています。水がづぎづぎに落ちてきて最後はたっぷりの水になります。

水の世界をおもいっきり感じてください。



みる

ヘレン・オクセンバリー／さく
童話館出版 1995年

E
オ

かえるをみる。空をとぶひこうきをみる。ともだちをみる。花がさいているのをみる。夜空の月をみる。いろんなかっこうで、いろんなものをみて、いろんな表情をすることも。こどもの「みる」には、“すてき”や“ふしぎ”がいっぱいです。



むしさんどこいくの？

得田之久／さく
童心社 2006年

E
ト

てんとうむしさん、どこいくの？ ちょうちょさんもどこいくの？歩き始めたあかちゃんにぴったりの虫の絵本。虫の形やくらしは本当の生態に基づいて描かれています。すっきりした背景で、見やすく安心感があります。



よこむいてにこっ

高島純／作
絵本館 1998年

E
タ

「ぶたが よこむいて」「にこっ」
「ぞうが よこむいて」「にこっ」
正面から見ると、まじめでちょっとこわい顔をしているのに横顔はみんな「にこっ」。
動物ばかりではありません。
「バナナも よこむいて」「にこっ」？！



あかちゃんとお母さんの あそびうたえほん

大島妙子／絵 小林衛己子／編
のら書店 1998年

E
オ

あかちゃんと遊べるわらべ歌あそびが載っています。育児はスキンシップが大切、とよく言われます。体にふれ、一緒に体を動かして見つめてあげるあそび歌のやさしさと楽しさを紹介しています。



うたえほん

つちだよしはる／え
グランママ社 1988年

E
ツ

「ぞうさん」「しゃぼんだま」「こいのぼり」などよく知られた、あのうた、このうたが、曲のイメージにあったふんわりやさしい絵とともに26曲紹介されています。簡単な楽譜もついています。

『うたえほん2』『うたえほん3』もあります。



12のわらべうたえほん

あべななえ／絵 小林衛己子／編
ハッピーオウル社 2006年

E
ア

あかちゃんと遊べるわらべうたが全12曲。歌いながら手足を動かしたり、体をやさしくゆすってあげたり、かおをさわってあげたりしてください。きっとあかちゃんとゆったりした楽しいひとときが過ごせますよ。



絵本の楽しみ方



あかちゃんへのよみきかせは“心のふれあい”が目的です。よみきかせをする時には、文字を読むのが1割、あとの9割はあかちゃん表情をみながらのふれあい・コミュニケーションだと考えたほうがよいでしょう。

よみきかせをする時には、あかちゃん表情が見えるように隣に座って絵本を広げ、ゆっくりとページをめくりながら読んでいきます。

あかちゃんの発達には個人差があり、絵本の楽しみ方もひとりひとり様々です。じっと絵をみたり、手足をバタバタさせたり、そっぽをむいたり。そんな反応や表情によるあかちゃんからのメッセージを大人が受け止めて、また続きを読んでみてください。

あかちゃんと一緒に、ゆったりとした絵本の時間をぜひ楽しんでください。

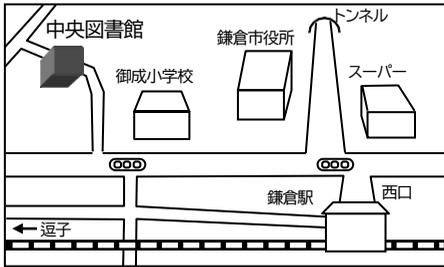


※ 鎌倉市図書館広告実施要領による掲載です。

※ 鎌倉市図書館広告実施要領による掲載です。

※ 鎌倉市図書館広告実施要領による掲載です。

鎌倉市の図書館

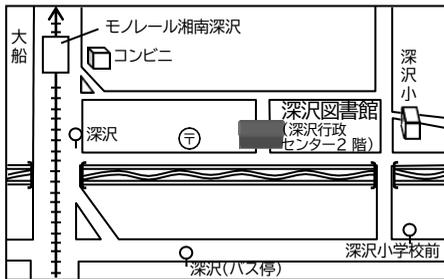


■中央図書館

〒248-0012 鎌倉市御成町20-35

電話 0467-25-2611

- JR鎌倉駅西口から徒歩7分

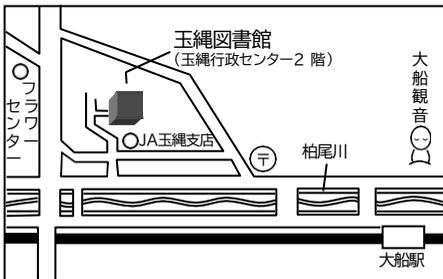


■深沢図書館

〒248-0022 鎌倉市常盤111-3

電話 0467-48-0022

- モノレール湘南深沢駅から徒歩5分
- 深沢バス停(京急)より3分
- 深沢小学校前バス停(江ノ電・京急)より5分

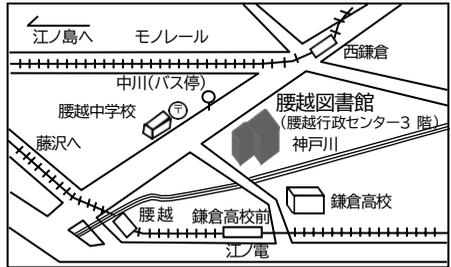


■玉縄図書館

〒247-0072 鎌倉市岡本2-16-3

電話 0467-44-2218

- JR大船駅西口から徒歩15分

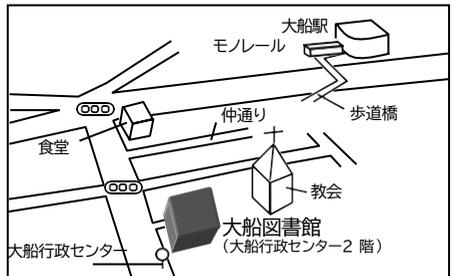


■腰越図書館

〒248-0033 鎌倉市腰越864番地

電話 0467-33-0711

- 江ノ電腰越駅から徒歩12分
- モノレール西鎌倉駅から徒歩10分
- 中川バス停(江ノ電バス)すぐ前



■大船図書館

〒247-0056 鎌倉市大船2-1-26

電話 0467-45-7710

- JR大船駅東口から徒歩7分
- 大船行政センターバス停(江ノ電バス)すぐ前
- JR鎌倉駅東口改札横、大船駅に「図書館返却用ポスト」があります。場所はホームページをご確認ください。

鎌倉市図書館所蔵の本は、返却用ポストへ返却できます。





●鎌倉市図書館のホームページ

パソコン版 <https://lib.city.kamakura.kanagawa.jp>

スマートフォン版 <https://lib.city.kamakura.kanagawa.jp/s/>

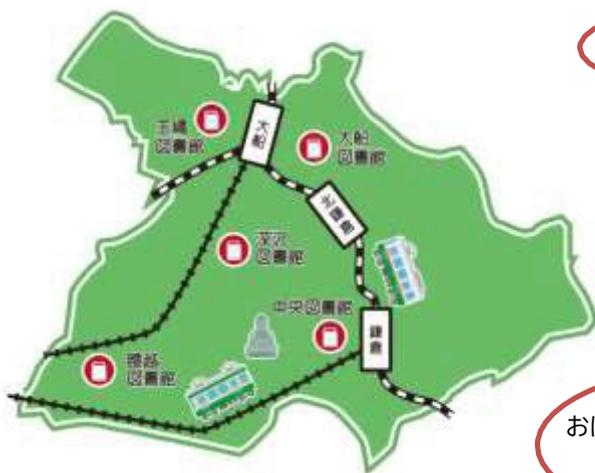


●開館時間

	中央図書館	腰越・深沢・大船・玉縄図書館
火・水・土・日・祝	9:30～18:00	8:45～17:15
平日の木・金のみ	9:30～19:00	8:45～19:00

●休館日 毎週月曜日(祝日の場合は、翌平日)

年末年始:12月29日～1月3日、特別整理休館



0さいから、図書館カードが
つくれます♪



おはなし会等の開催は、くわしくは
ホームページやX等を
みてください♪

よんでみない？

～あかちゃんに贈る絵本の紹介リストブックスタート編～
令和7年度(2025年度)版

令和7年(2025年)4月

発行・編集 鎌倉市中央図書館

鎌倉市御成町 20-35

電話 0467-25-2611